

乳房再建（TE 挿入）＋センチネルリンパ節生検 患者さんパスシート（No.1）

氏名		診療科名	乳腺科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	手術当日/手術後
達成目標	・ 傷の痛みや吐き気等があれば我慢せず医師や看護師に伝えましょう。 ・ その他、症状を感じたら医師や看護師に伝えましょう。 ・ バストバンドで胸をしっかり固定しましょう。 ・ 管が曲がったり抜けたりしないように注意しましょう。 ・ 手術後の安静を守りましょう。 ・ 転倒・転落に注意しましょう。
治療	・ 手術した側の傷の付近に管が入っています。 ・ 酸素マスクをつけます。
薬	・ 内服薬は食事開始となつてからの開始となります。 ・ 抗生物質の点滴をします。 ・ 水分補給のための点滴をします。 ・ 痛みが強いときはその他のお薬を使うこともできますので、医師や看護師に伝えましょう。
検査	・ 看護師が1時間毎に検温と創部の観察を行います。 ・ 手術後、病室にてレントゲン検査を行います。
観察	・ 痛みの有無、バストバンドの固定状況などを医師、看護師が観察します。 ・ 管の排液量、色を観察します。
排泄	・ 尿の管が入っている場合があります。 ・ トイレに行きたくなったら看護師を呼んでください。 （安静中はベッド上での排泄となります）
活動	・ 酸素マスク着用中はベッド上での安静となります。 ・ 酸素マスクが外れた後は、看護師が最初の歩行時に付き添い、ふらつきがなければ病棟内を歩くことができます。
食事	・ 手術室から帰室6時間後から水分を取ることができます。 ・ 食事は翌朝から開始となります。
説明指導	・ 手術終了後、主治医よりご家族の方へ手術の経過についてお話しします。 （ご家族の方は病棟内でお待ちください） ・ 術後、患側の腕は肩より上げないようにしましょう。 ・ 帰室後より、手のグーパー運動を行いましょう。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

乳房再建（TE 挿入）＋センチネルリンパ節生検 患者さんパスシート（No.2）

氏名		診療科名	乳腺科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	手術後 1 日目
達成目標	・ 傷の痛みや吐き気等があれば我慢せず医師や看護師に伝えましょう。 ・ その他、症状を感じたら医師や看護師に伝えましょう。 ・ バストバンドで胸をしっかり固定しましょう。 ・ 腕は肩の高さまでの挙上制限を守りましょう。 ・ 管が曲がったり抜けたりしないように注意しましょう。 ・ 転倒・転落に注意しましょう。
観察	・ 痛みの有無、創部からの出血、腫れ、熱感などを観察します。 ・ バストバンドの固定状況を確認します。 ・ 創部に入っている管の排液量、色を観察します。 (9 時と 21 時にバッグに溜まった排液を出します)
薬	・ 内服薬が再開となります。 ・ 痛みどめ、胃薬の内服薬が開始となります。
検査	・ 起床時に採血があります。
処置	・ 乳腺科医師、形成外科医師がそれぞれ診察をします。 ・ エキスパンダー挿入カードを医師からもらいましょう。
排泄	・ 尿の管が入っていた場合、歩行に問題がなければ尿の管を抜きます。 ・ 抜いた後は制限がありません。
活動	・ 制限はありません。
食事	・ 制限はありません
清潔	・ タオルで体を拭くことができます。
説明指導	・ 創部の圧迫感や痛みがある時は看護師に伝えましょう。 ・ 管は曲げたり、引っ張ったりしないように注意しましょう。 ・ 創部の安静を保つために、腕は肩の高さより高く挙げないようにしましょう。 入院中は術後のリハビリテーションは行わず肩の高さの挙上制限を守りましょう。 ・ エキスパンダー挿入カードは大切に保管しましょう。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

乳房再建（TE 挿入）＋センチネルリンパ節生検 患者さんパスシート（No.3）

氏名		診療科名	乳腺科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	手術後 2 日目
達成目標	・ 傷の痛みや吐き気等があれば我慢せず医師や看護師に伝えましょう。 ・ その他、症状を感じたら医師や看護師に伝えましょう。 ・ バストバンドで胸をしっかり固定しましょう。 ・ 管が曲がったり抜けたりしないように注意しましょう。 ・ 腕は肩の高さまでの挙上制限を守りましょう。
観察	・ 痛みの有無、創部からの出血、腫れ、熱感などを観察します。 ・ バストバンドの固定状況を確認します。 ・ 創部に入っている管の排液量、色を観察します。 (9 時と 21 時にバッグに溜まった排液を出します)
薬	・ 痛み止め・胃薬の内服薬があります。
処置	・ 乳腺科医師、形成外科医師がそれぞれ診察をします。
排泄	・ 制限はありません
活動	・ 制限はありません
食事	・ 制限はありません
清潔	・ 下半身のみシャワー浴ができます。
説明指導	・ 腕を肩以上に挙げないように注意しましょう。 ・ 管は曲げたり、引っ張ったりしないよう注意しましょう。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

乳房再建（TE 挿入）＋センチネルリンパ節生検 患者さんパスシート（No.4）

氏名		診療科名	乳腺科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	手術後3日目
達成目標	・ 病院内を歩行しましょう。 ・ 傷の痛みや吐き気等があれば我慢せず医師や看護師に伝えましょう。 ・ その他、症状を感じたら医師や看護師に伝えましょう。 ・ バストバンドで胸をしっかり固定しましょう。 ・ 管が曲がったり抜けたりしないように注意しましょう。 ・ 腕は肩の高さまでの挙上制限を守りましょう
観察	・ 痛みの有無、創部からの出血、腫れ、熱感などを観察します。 ・ バストバンドの固定状況を確認します。 ・ 創部に入っている管の排液量、色を観察します。 （21 時にバッグに溜まった排液を出します）
薬	・ 痛み止め・胃薬の内服薬があります。
処置	・ 乳腺科医師、形成外科医師がそれぞれ診察をします。
排泄	・ 制限はありません
活動	・ 制限はありません
食事	・ 制限はありません
清潔	・ 下半身のみシャワー浴ができます。
説明指導	・ 腕を肩以上に挙げないように注意しましょう。 ・ 管は曲げたり、引っ張ったりしないよう注意しましょう。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

乳房再建（TE 挿入）＋センチネルリンパ節生検 患者さんパスシート（No.5）

氏名		診療科名	乳腺科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	手術後 4 日目
達成目標	・ 傷の痛みや圧迫感があれば我慢せず医師や看護師に伝えましょう。 ・ その他、症状を感じたら医師や看護師に伝えましょう。 ・ バストバンドで胸をしっかり固定しましょう。 ・ 腕は肩の高さまでの挙上制限を守りましょう。 ・ 退院後の生活をイメージしましょう。 ・ 退院後の生活について疑問点があれば質問しましょう。
観察	・ 痛みの有無、創部からの出血、腫れ、熱感などを観察します。 ・ バストバンドの固定状況を確認します。
薬	・ 痛み止め・胃薬の内服薬があります。 ・ 手術前に医師の指示で中止していた内服薬があれば再開の時期を医師に相談します。
処置	・ 乳腺科医師、形成外科医師がそれぞれ診察をします。
排泄	・ 制限はありません
活動	・ 制限はありません
食事	・ 制限はありません
清潔	・ 下半身のみシャワー浴ができます。
説明指導	・ 腕を肩以上に挙げないように注意しましょう。 ・ 管は曲げたり、引っ張ったりしないよう注意しましょう。 ・ エキスパンダーに水を入れると一時的に圧迫感が強まりますが、数日経過すると慣れてきます。 ・ 退院後の注意事項について説明します。（退院後の生活について 参照） ・ 退院後の生活について説明をもとに、家事や仕事、趣味などご自身の生活について考えてみましょう。 ・ 退院後の生活がイメージできるように看護師も一緒に考えます。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

乳房再建（TE 挿入）＋センチネルリンパ節生検 患者さんパスシート（No.6）

氏名		診療科名	乳腺科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	手術後5日目
達成目標	・バストバンドで胸をしっかり固定しましょう。 ・腕は肩の高さまでの挙上制限を守りましょう。 ・退院後の生活をイメージしましょう。 ・退院後の生活について疑問点があれば質問しましょう。
観察	・痛みの有無、創部からの出血、腫れ、熱感などを観察します。 ・バストバンドの固定状況を確認します。
薬	・痛み止め・胃薬の内服薬があります。 ・手術前に医師の指示で中止していた内服薬があれば再開の時期を医師に相談します。
処置	・乳腺科医師、形成外科医師がそれぞれ診察をします。 ・管からの排液量が少なくなったら管を抜きます。
排泄	・制限はありません
活動	・制限はありません
食事	・制限はありません
清潔	・下半身のみシャワー浴ができます。
説明指導	・腕を肩以上に挙げないように注意しましょう。 ・管は曲げたり、引っ張ったりしないよう注意しましょう。 ・現在エキスパンダーが挿入されている側には磁石が入っています。挿入されている側のマンモグラフィーや磁気が影響するMRI検査は受けることができません。術後に渡されたカードを携帯するようにしましょう。 ・退院後の注意事項について説明します。（退院後の生活について 参照）

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

乳房再建（TE 挿入）＋センチネルリンパ節生検 患者さんパスシート（No.7）

氏名		診療科名	乳腺科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	手術後6日目：退院
達成目標	・バストバンドで胸をしっかり固定しましょう。 ・腕は肩の高さまでの挙上制限を守りましょう。 ・退院後の生活をイメージしましょう。 ・退院後の生活について疑問点があれば質問しましょう。
観察	・痛みの有無、創部からの出血、腫れ、熱感などを観察します。 ・バストバンドの固定状況を確認します。
薬	・痛み止め・胃薬の内服薬があります。 ・手術前に医師の指示で中止していた内服薬があれば再開の時期を医師に相談します。
処置	・乳腺科医師、形成外科医師がそれぞれ診察をします。 ・傷口の消毒をします。 ・バストバンドを指導された強さで固定しましょう。
排泄	・制限はありません
活動	・制限はありません
食事	・制限はありません
清潔	・管を抜いた翌日からシャワー浴が可能となります。
説明指導	・退院前にバストバンドの装着の強さを医師・看護師に確認しましょう。 ・退院後も医師の指示があるまでバストバンドを使用します。 ・退院後の生活についてわからないことは、看護師に確認しましょう。 ・保険などの書類は退院日に本館1階のAブロックに提出してください。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

退院後の生活について

乳房再建について

- 乳房再建を行うためにはエキスパンダーをふくらませて皮膚をのばすことが必要となります。ふくらませてすぐは、一時的に圧迫感や痛みが強くなりますがだんだんと慣れてきます。辛いときは、形成外科の医師に相談しましょう。
- 最終的に人工物（インプラント）で再建するか自家組織で再建するかを考えましょう。なかなか決められないときは医師や看護師に相談しましょう。
- エキスパンダーには磁石が入っているため、MRI検査を受けることができません。医師からもらったエキスパンダー挿入カードは、いつも携帯するようにしましょう。

退院後のシャワーや傷の観察について

- 手術した箇所は抜糸を行っていません。抜糸は次回外来で行います。退院後はシャワーの際などに創部の赤み、腫れ、滲出液がないかを観察しましょう。
- シャワー時はボディソープをよく泡立てて傷をこすらないように優しく洗いましょう。シャワーの後は創部をガーゼで保護してください。
- 浴槽につかる、プールに入ることは次回外来までは控えてください。

リハビリについて

- 入院中は腕を肩の高さまでしか動かさないようにしていましたが、退院後は少しずつ動かすようにしましょう。毎日動かすことが痛みや違和感を緩和することにつながります。

退院後の下着について

○退院後しばらくはバストバンドを使用します。次回外来までは医師から説明された程度の強さで、固定してください。

○術後医師の指示でバストバンドからピンクの胸帯などのやわらかい下着を着けます。

退院後の仕事や趣味について

○退院後は体力に合わせて、仕事や趣味は入院前と同様にできます。

（温泉やプールは医師の指示があってからにしましょう。）

○胸を圧迫するような体勢は避けるようにしましょう。

- ・うつぶせに寝ないようにしましょう。
- ・満員電車や満員エレベーターで押されないようにしましょう。
- ・当たると衝撃の大きい球技など（バレーボールなど）

次回外来までに創部の腫れや赤みが強くなったり、強い痛みが出現したときは、乳腺科外来までお電話にてご相談ください。緊急で受診したほうが良いか、医師が判断します。ただし夜間・休日の場合は総合診療センターまでお電話ください。

日本医科大学付属病院（代表）03-3822-2131

乳腺科外来（内線）3388、3389（9:00～16:30）

総合新郎センター（内線）3304、3305（16:30～9:00）